

滋賀県いじめ再調査委員会 次第

日時：令和6年11月19日(火)10:00～

場所：危機管理センター1階 災害対策室1

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委員紹介
- 4 委員長選任
- 5 委員長職務代理者の指名
- 6 議事（報告事項）
 - (1) 公立・私立の小学校・中学校・高等学校および特別支援学校におけるいじめの状況について
 - (2) 滋賀県におけるいじめ防止対策について
- 7 閉会

滋賀県いじめ再調査委員会 委員名簿

(任期：令和6年9月4日から令和8年9月3日まで)

(敬称略・五十音順)

分野	氏名	現職等
法律	こうづ たかお 甲 津 貴 央	弁護士
医療	さか もと まさし 坂 本 昌 士	医師（精神科）
福祉	ささき ちさと 佐々木 千里	社会福祉士
学識経験者	はせがわ まこと 長 谷 川 誠	神戸松蔭女子学院大学副学長
心理	やまな りえ 山 名 利 枝	臨床心理士

○滋賀県におけるいじめの状況(公立+私立)

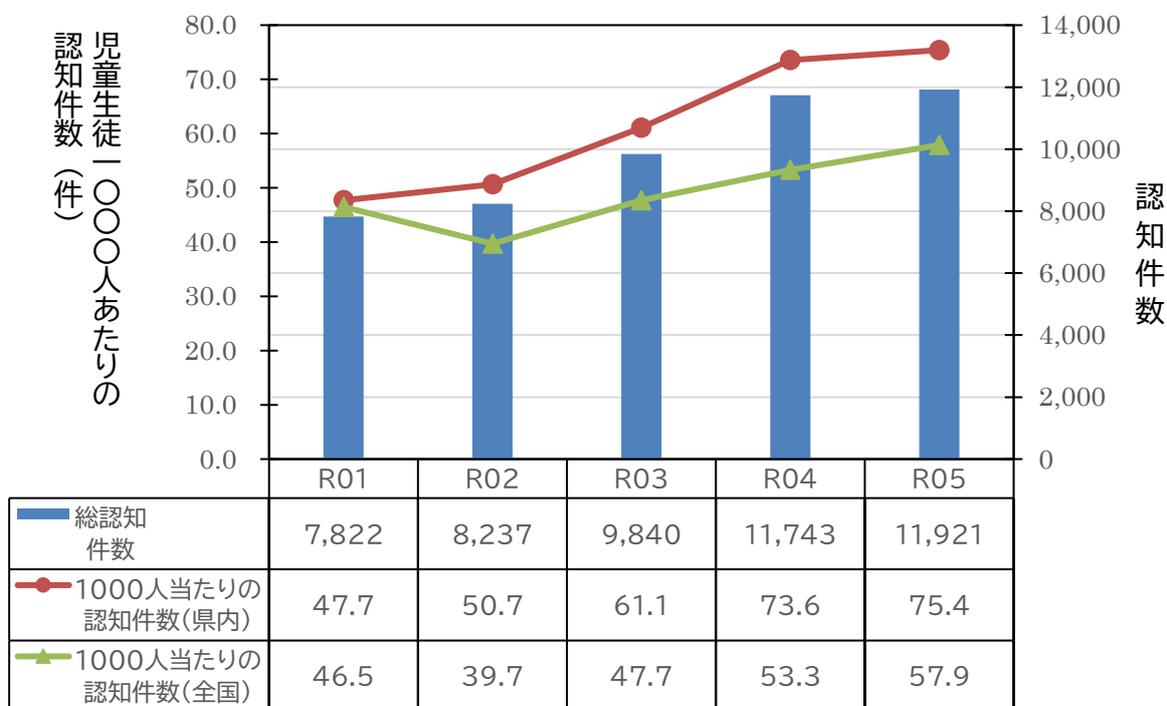
(1)いじめの総認知件数 表(1)

小・中・高等学校ならびに特別支援学校のいじめの総認知件数 **11,921件**

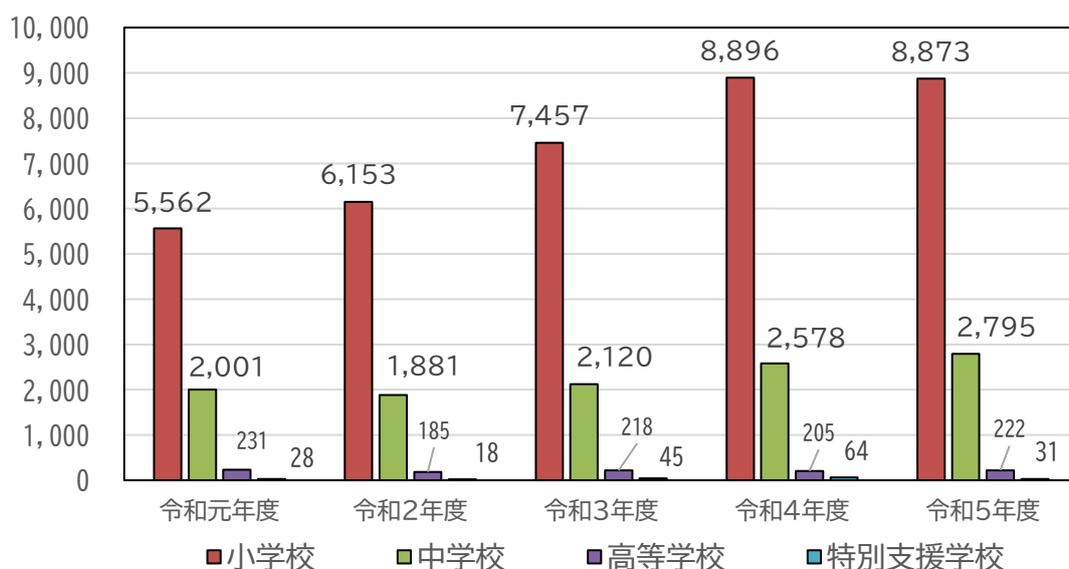
【令和4年度より 178件増加】

児童生徒1,000人あたりの認知件数 **75.4件**

【令和4年度より 1.8件増加】



(2)学校種別ごとのいじめの認知件数 表(2)



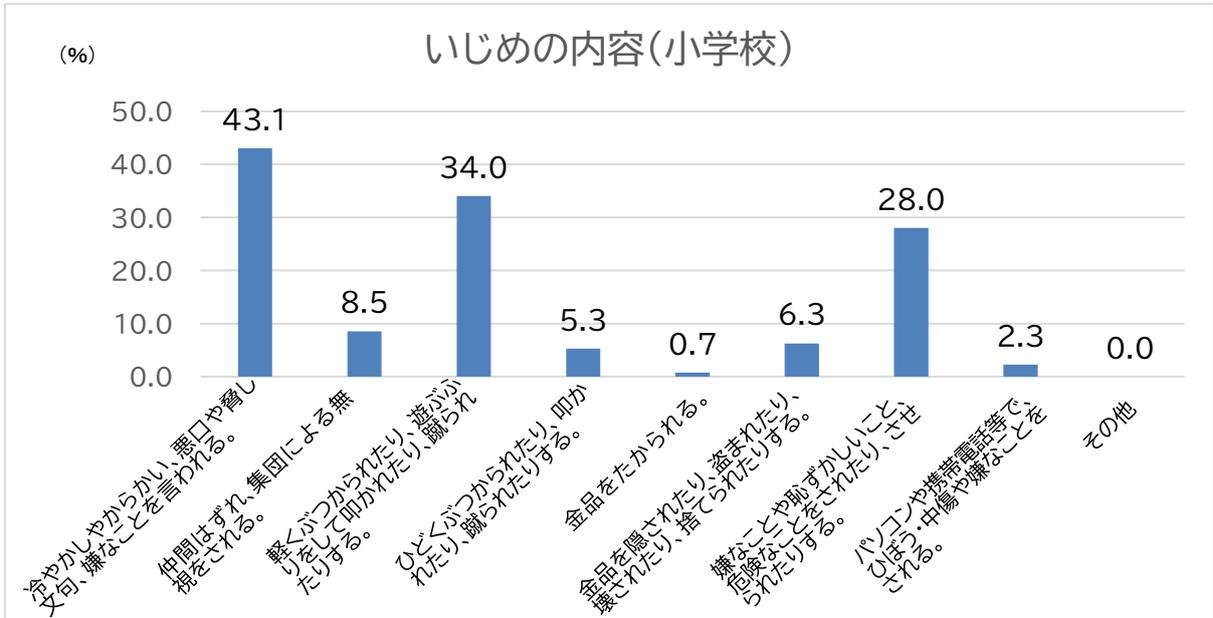
- ・小学校 認知件数 **8,873件**【令和4年度より 23件減少 ↓】
- ・中学校 認知件数 **2,795件**【令和4年度より 217件増加 ↑】
- ・高等学校 認知件数 **222件**【令和4年度より 17件増加 ↑】
- ・特別支援学校 認知件数 **31件**【令和4年度より 33件減少 ↓】

(3)いじめの認知学校数 表(2)

- ・小学校認知校数 217校/220校 【令和4年度より 1校減少↓】
- ・中学校認知校数 103校/105校 【令和4年度より 2校増加↑】
- ・高等学校認知校 55校/ 65校 【令和4年度より 6校増加↑】
- ・特別支援学校認知校数 9校/ 16校 【令和4年度より 1校増加↑】

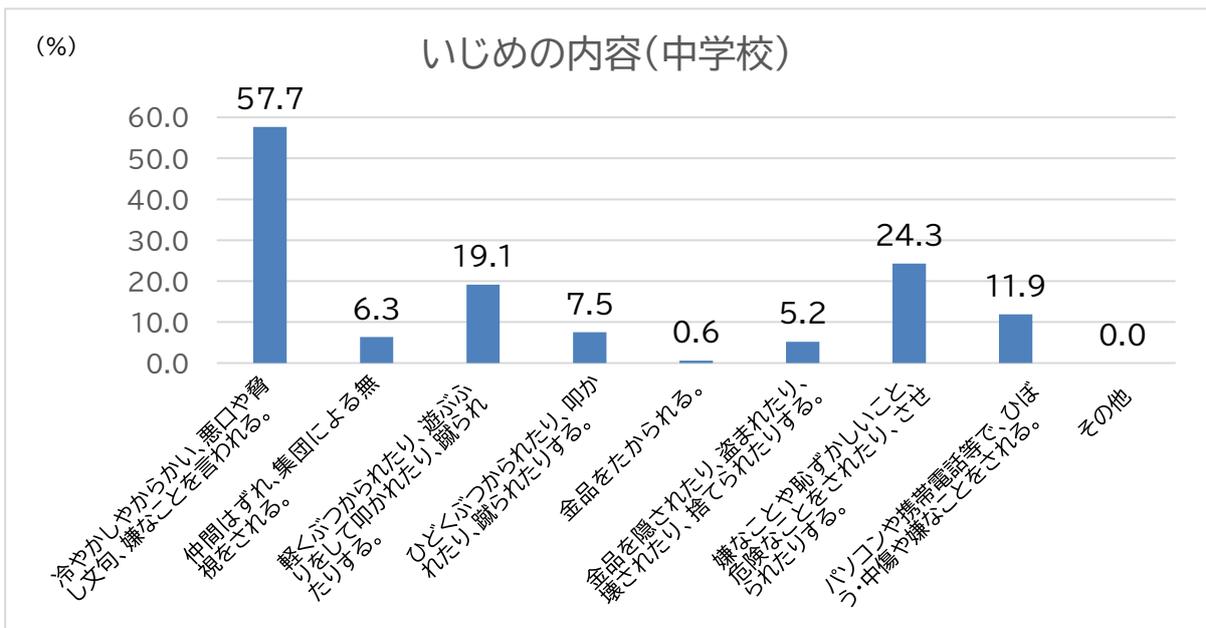
(4)いじめの内容(態様) 令和5年度 表(3)

【小学校における内容】



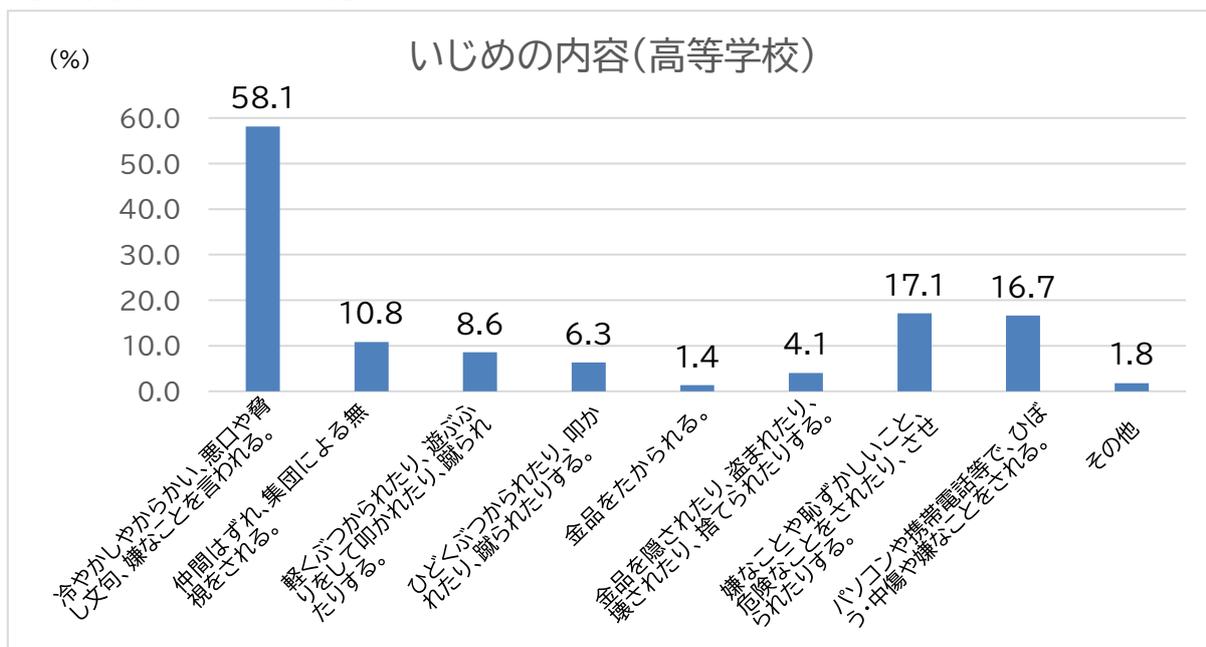
- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる 43.1%
- ②軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする 34.0%
- ③嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする 28.0%

【中学校における内容】



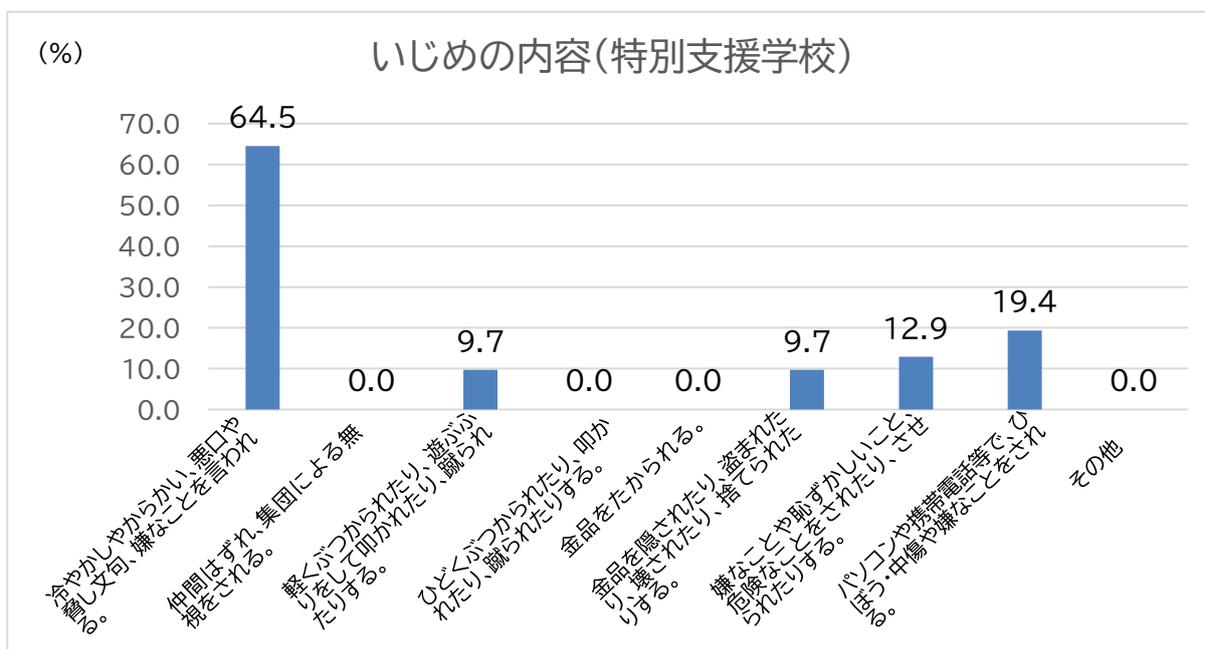
- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる 57.7%
- ②嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする 24.3%
- ③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする 19.1%

【高等学校における内容】



- ①冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる **58.1%**
- ②嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする **17.1%**
- ③パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる **16.7%**

【特別支援学校における内容】



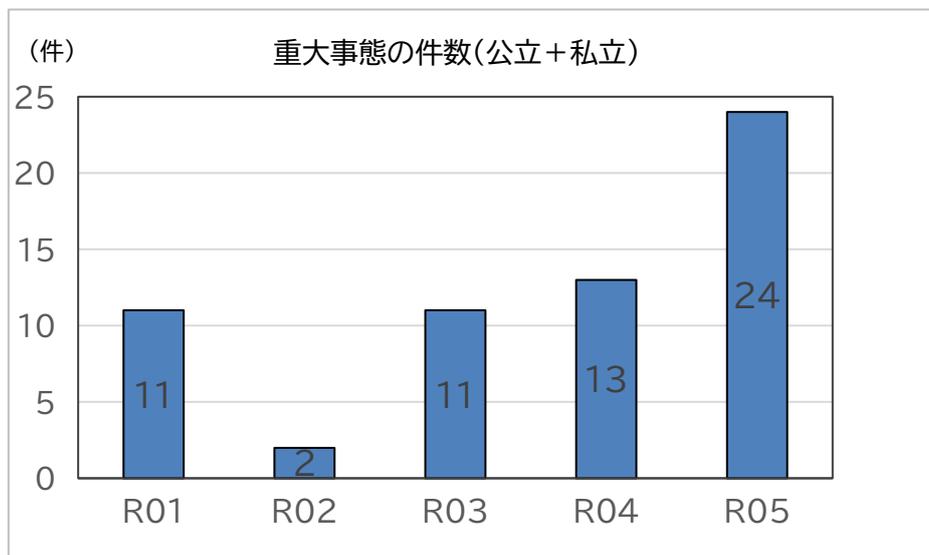
- ①冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる **64.5%**
- ②パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる **19.4%**
- ③嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする **12.9%**

(5)いじめの重大事態件数

小・中・高等学校ならびに特別支援学校のいじめの重大事態件数 **24件**

【令和4年度より 11件増加】

児童生徒1,000人あたりの重大事態件数 **0.16件**



総合的な対策の推進

滋賀県いじめ問題対策連絡協議会

《滋賀県いじめ防止基本方針(平成29年9月改定)》

- いじめの問題への対応は、学校を含めた社会における最重要課題の1つ
- 「子どもの目線」に立ったいじめの把握と学校の組織的かつ迅速な対応による「いじめの解消」を目指す
- 児童生徒自らがいじめの問題について考え、議論する活動など、児童生徒自身による主体的な活動の推進

現状・課題

(R5年度 文部科学省問題行動等調査等)

いじめ認知件数・認知した学校の割合(全公立学校の合計)

	R3	R4	R5
いじめ認知件数(件)	9,823	11,716	11,890
認知した学校の割合(%)	96.1	95.1	96.6

いじめ発見のきっかけ(認知件数に対する割合 %)

	R3		R4		R5	
	滋賀	全国	滋賀	全国	滋賀	全国
教職員等による発見	20.4	12.0	23.3	12.3	22.5	12.3
本人の訴えによる発見	36.5	18.2	35.5	19.2	36.3	19.3
本人を除く児童生徒による発見	9.5	3.4	9.3	3.6	9.4	3.7
その他(アンケート等)	33.6	66.4	31.9	64.9	31.8	64.7

①子どもの自尊感情の醸成やよりよい仲間づくりの課題

- ・「自分には、よいところがある」と回答:小学生42.1%、中学生34.5%(R6学・学状況調査)
- ・児童生徒によるいじめ防止に特化した取組の実施率 (R5県教委調べ)
小学校85.8% 中学校87.8% 高等学校49.0%

②教員の資質向上に係る取組や学校の組織体制の課題 (R5文部科学省問題行動等調査等)

- ・「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」の割合
小学校2.3%、中学校11.9%、高等学校17.5%
- ・SNS等によるいじめ事案の件数が増加傾向

③家庭・地域・関係機関との連携の課題 (R5文部科学省問題行動等調査等)

- ・PTAや地域の関係団体等と、いじめの問題について協議する機会を設けた学校
小学校50.0%、中学校57.1%、高等学校96.1%

対策・取組

組織的対応力の向上と子ども自身による主体的な取組の推進

①児童生徒が主人公となる学校づくり

- 学級づくり、話し合い活動の充実
- 児童会・生徒会による「絆」をつむぐ学級・学校づくりの推進
- 校内、中学校区内、市町内で子ども自身がいじめの問題を考え議論する取組

《関連事業等》

- ・いじめ問題サミット等の各市町への普及啓発

【いじめ防止のための滋賀県宣言】

- ①いじめに対する3つの心
～強い心、優しい心、賢い心～
- ②認め助け合おう みんなの個性
- ③SNS つくるもつかうも同じ“人”
～あなたには画面の奥が見えますか?～

++令和元年度滋賀県いじめ問題サミットにて全中学校代表が作成++

②教員の資質向上・校内組織体制の充実

- いじめ防止対策推進法に則った対応
- 事例検討など校内研修会の充実
- SCと協働した「心理教育」の実践
- いじめアンケートの工夫
- いじめ対策委員会による学校全体でのいじめ対策
- 保護者や児童生徒の意見を取り入れた学校いじめ防止基本方針の点検・見直し

《関連事業等》

- ・スクールカウンセラー等活用事業
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業
- ・生徒指導・教育相談スキルアップ研修会
- ・指導主事による学校訪問

③関係機関等のサポート体制の充実

- スマートフォン等の使い方についての家庭でのルール作りや情報モラル教育の推進
- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)等による学校のいじめ対策の評価・検証

《関連事業等》

- ・24時間子供SOSダイヤル
- ・こころのサポートしが(SNS相談)
- ・生徒指導緊急サポート事業(専門家派遣)
- ・滋賀県いじめ問題対策連絡協議会
- ・滋賀県立学校いじめ問題調査委員会
- ・学校と警察との連絡制度
- ・生徒指導緊急特別対応事業(SST)